

平成の皇室観

～「即位 20 年 皇室に関する意識調査」から～

世論調査部（社会調査） 加藤元宣

はじめに

世論調査部では、報道局社会部と共同で、「即位 20 年 皇室に関する意識調査」を実施した。この調査は、天皇即位 20 年を機に、皇室への関心・感情や、皇室との距離、皇位継承のあり方などについての国民の意識を探ることを目的として行ったものである。

調査は、2009年10月30日（金）～11月1日（日）の3日間、全国の20歳以上の男女を対象に電話調査（RDD 追跡法）で実施した。調査の対象となったのは3,313人で、このうちの62%にあたる2,043人から回答を得た。

以下に、調査結果の概要を紹介し、現在国民が抱えている平成の皇室観の一端に触れてみることにしたい。

1. 皇室への関心・感情

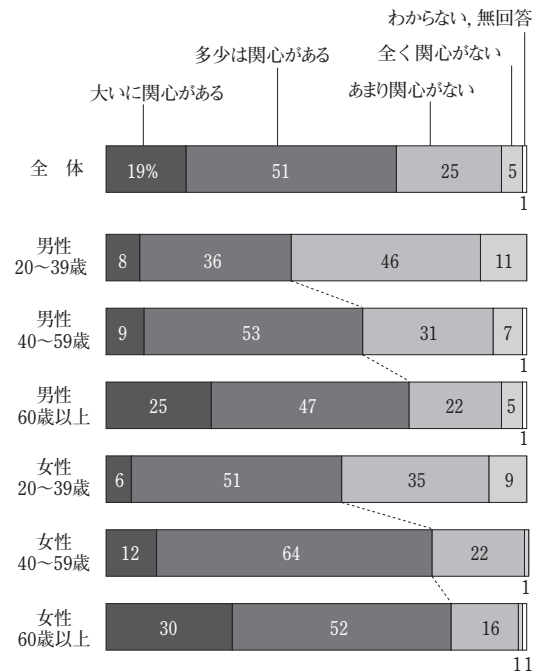
まず、国民が皇室に対してどの程度の関心を持っているのかについてみてみることにしたい。

「皇室について、どの程度関心がありますか」と尋ねたところ、「大いに関心がある」が19%、

「多少は関心がある」が51%、「あまり関心がない」が25%、「全く関心がない」が5%という結果になった（図1）。

「大いに」と「多少は」を合わせて「関心がある」は70%となっており、国民の多くが皇室に対して関心を持っている。

図1 皇室への関心



また、皇室への関心を男女年齢別でみると、男性よりも女性、そして年齢が高くなるほど皇室に対して関心を持っていることが浮き彫りとなっている。

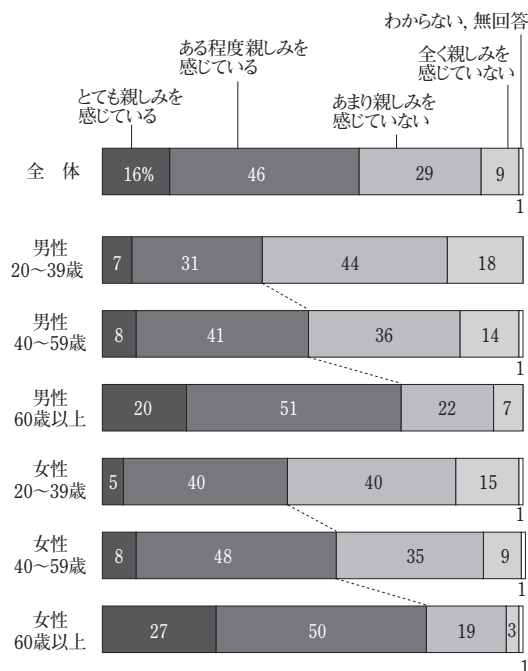
それでは、国民は皇室にどのような感情を持っているのだろうか。調査では、皇室に親しみを感じるかについて尋ねている。

「とても親しみを感じている」が16%、「ある程度親しみを感じている」が46%、「あまり親しみを感じていない」が29%、「全く親しみを感じていない」が9%となった(図2)。

「とても」と「ある程度」を合わせると、皇室に対して「親しみを感じている」と答えた人の割合は60%を超えている。

皇室への親しみを男女年齢別でみると、皇室への関心の場合と同様に、男性よりも女性、そして年齢が高くなるほど皇室に親しみを感じている人が多い。

図2 皇室への親しみ



2. 象徴としての天皇・皇室との距離

日本国憲法第1条では、「天皇は、日本国の象徴であり国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」と規定されている。

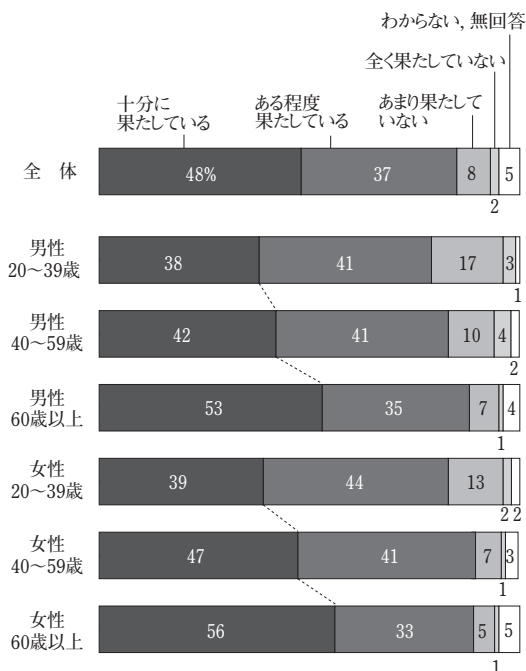
調査では、今の天皇が憲法で定められた象徴としての役割を果たしていると思うかを尋ねた。「十分に果たしている」が48%、「ある程度果たしている」が37%、「あまり果たしていない」が8%、「全く果たしていない」が2%となった(図3)。

「十分に」と「ある程度」を合わせて「果たしている」と答えた人の割合は85%に上っている。

男女年齢別でみると、役割を「十分に果たしている」と高く評価をする人は、男性女性ともに年齢が高くなるほど多くなっている。

天皇は、即位以来、様々な公務に取り組ん

図3 役割の評価

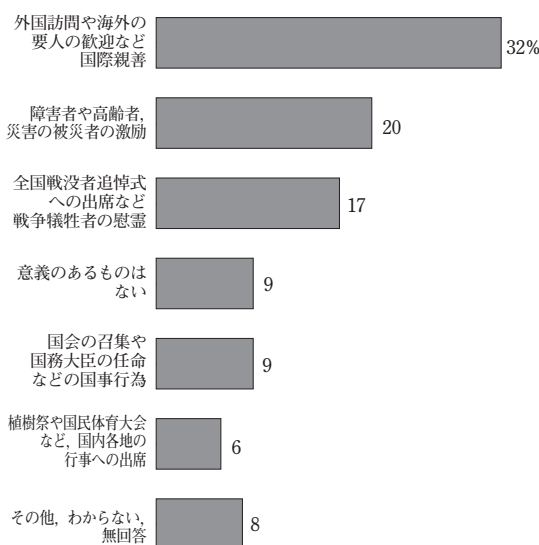


でいる。平成3(1991)年の東南アジア諸国を皮切りに、中国やアメリカ、ヨーロッパ諸国、第2次大戦の激戦地サイパン島など、世界各地を訪れている。阪神・淡路大震災や新潟県中越地震など、大きな自然災害が発生したときには、被災地を自ら訪問し被災者を直接励ましている。

また、天皇は常々、戦争犠牲者に対して強い哀悼の姿勢を示している。沖縄戦で甚大な人的被害を出した沖縄県への思いも深く、平成5(1993)年の行幸の折には、予定されていなかったひめゆり学徒隊の慰霊碑を訪れている。

図4は、「今の天皇の公務で、特に意義があるものはどれだと思いますか」という質問に対する回答の結果である。最も多かったのは「外国訪問や海外の要人の歓迎など国際親善」で32%、次いで、「障害者や高齢者、災害の被災者への激励」が20%、「全国戦没者追悼式への出席など戦争犠牲者の慰霊」が17%などとなっている。

図4 天皇の公務で意義のあるもの



なお、「国際親善」を挙げた人は女性20～39歳(41%)と女性40～59歳(39%)で他の年層よりも多くなっている。また、「災害の被災者への激励」は女性の40～59歳(25%)と60歳以上(24%)で割合が多い。一方、「戦争犠牲者の慰霊」は男女を合わせた70歳以上では24%を占めており、他の年層と比べて多い。

天皇は「国民と近い皇室でありたい」という姿勢を日頃から示している。そこで、即位からの20年間で、皇室と国民との距離は近くなったと思うのか、遠くなったと思うのかを尋ねた。

「かなり近くなった」と答えた人が26%、「やや近くなった」が36%、「変わらない」が30%、「やや遠くなった」が3%、「かなり遠くなった」が1%となった(図5)。「かなり」と「やや」を合わせて「近くなった」と答えた人は62%となっている。

図5 皇室との距離

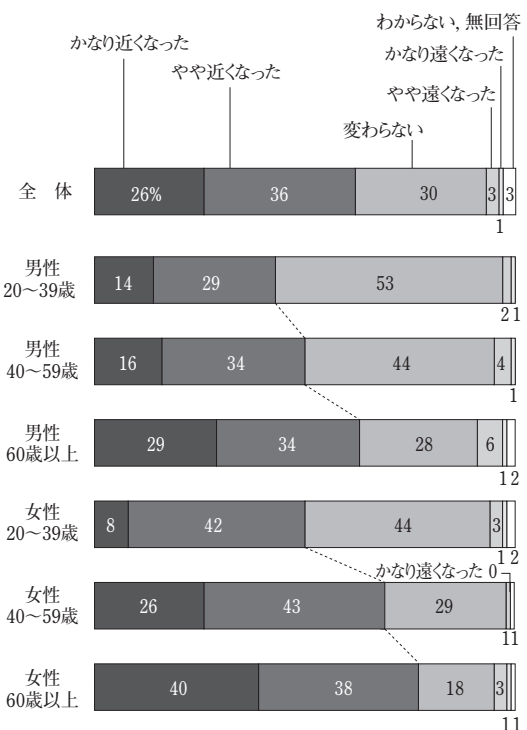
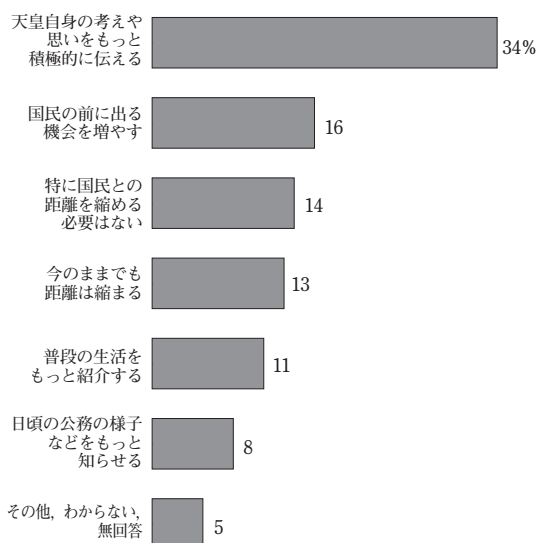


図6 距離を縮めるために必要なこと



男女年層別で見ると、男性よりも女性、そして年齢が高くなるほど、この20年間で皇室と国民との距離は近くなったと感じている。

調査では、皇室と国民との距離はどうすれば縮まると思うかについても尋ねている。「天皇自身の考えや思いをもっと積極的に伝える」が34%を占めており、他の項目を引き離している(図6)。

なお、「特に国民との距離を縮める必要はない」という人が14%、「今のままでも距離は縮まる」という人も13%いる。「縮める必要はない」は男性20～39歳(21%)、「今のままでも縮まる」は女性60歳以上(20%)で他の年層よりも多くなっている。

3. 皇位継承のあり方

続いて、国民が皇位継承についてどのように考えているかをみてみることにしたい。

「女性が皇位を継承することに賛成ですか。

それとも反対ですか」という質問に対して、「賛成」が77%、「反対」が14%となった。2006年2月に実施した政治意識月例調査の結果(賛成71%、反対13%)と比べると、賛成がやや増加している(図7)。

図7 女性天皇賛否

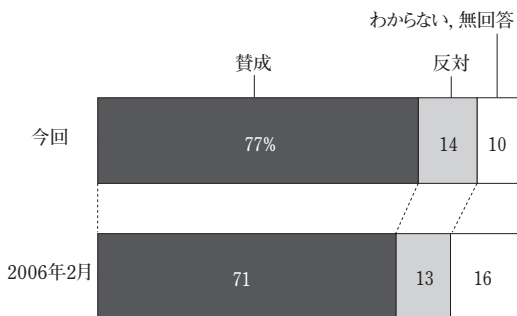
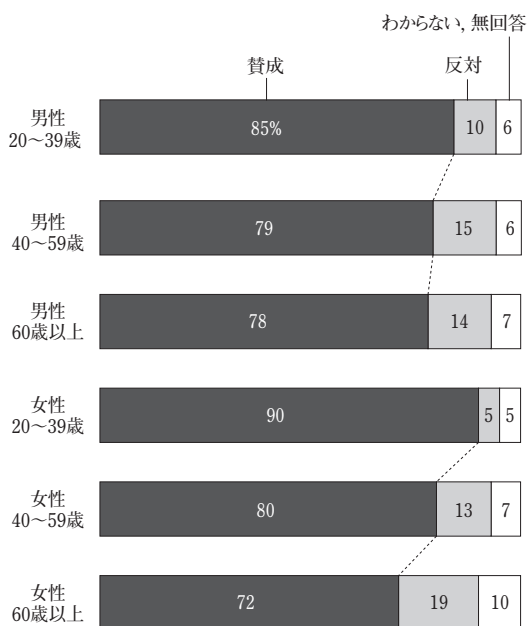


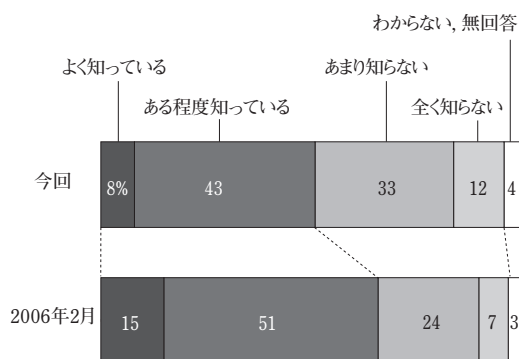
図8は、今回の結果を男女年層別にみたものである。「賛成」という人は男性20～39歳(85%)と女性20～39歳(90%)で多くっており、若い層ほど女性天皇を容認する傾向が強いことを読み取ることができる。

図8 女性天皇賛否(男女年層別)



さらに、女性天皇の子どもが天皇になる、「女系天皇」の意味を知っているかを尋ねたところ、「よく知っている」が8%、「ある程度知っている」が43%、「あまり知らない」が33%、「全く知らない」が12%となり、「よく」と「ある程度」を合わせて「知っている」と答えた人が51%となった。2006年調査では、「知っている」が66%であったので、今回は「知っている」と答えた人が減少している（図9）。

図9 「女系」天皇知っているか



なお、「知っている」と答えた人を男女別で見ると、男性の割合（57%）のほうが女性（46%）よりも高くなっており、女系天皇の知識に関しては男女間で違いがある。

女系天皇を「知っている」と答えた人だけに、女系天皇を認めることの賛否について尋ねたところ、該当者分母（1,039人）で「賛成」が81%、「反対」が14%となった。

4. 皇室に今後求めること

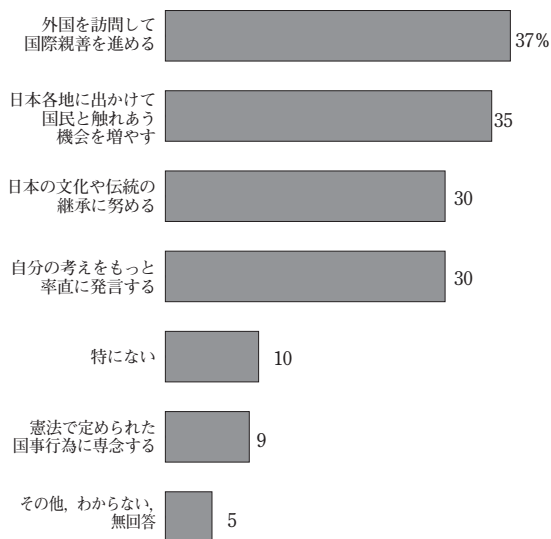
天皇制についてどのように考えるかを尋ねたところ、「天皇は現在と同じく象徴でよい」が82%、「天皇制は廃止する」が8%、「天皇に政治的権限を与える」が6%となった。

なお、天皇は象徴でよいと答えた人は、男

性60歳以上で88%、女性60歳以上で87%となっており、他の年層よりも多くなっている。

また、これからの皇室に望むことを2つまで選んでもらったところ、「外国を訪問して国際親善を進める」が37%、「日本各地に出かけて国民と触れあう機会を増やす」が35%、「日本の文化や伝統の継承に努める」が30%、「自分の考えをもっと率直に発言する」が30%などとなった（図10）。「憲法で定められた国事行為に専念する」は9%と少なく、今後の皇室の活動に対して、国民が多様な要望を持っていることが浮き彫りとなっている。

図10 これからの皇室に望むこと

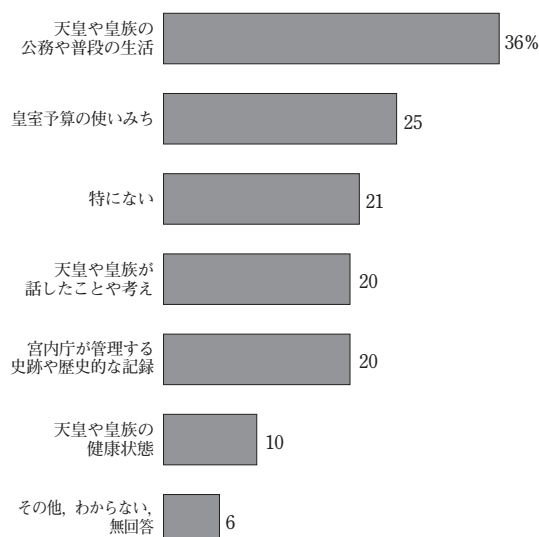


なお、「特にない」は女性70歳以上で15%、「憲法で定められた国事行為に専念する」は男性70歳以上で14%を占めており、他の層よりも割合が多くなっている。

さらに、皇室に関して、どのような情報を提供してほしいか2つまで選んでもらったところ、「天皇や皇族の公務や普段の生活」が36%、「皇室予算の使いみち」が25%、「天皇や皇族

が話したことや考え」が20%、「宮内庁が管理する史跡や歴史的な記録」が20%、「天皇や皇族の健康状態」が10%となった。なお、この質問に対して「特にない」と答えた人は21%を占めている(図11)。

図11 提供を望む情報



らかになった。また、今の天皇が憲法の象徴としての役割を十分に果たしていると国民が考えていること、即位からのこの20年で皇室との距離が近くなったと国民が感じていることも読み取ることができた。それとともに、国際親善や国民との触れ合いなど、国民が皇室に対して様々な期待を寄せていることも、調査結果から浮かび上がった。また、男女年層の違いによって、皇室観に温度差があることも今回の調査から明らかになった。

(かとう もとのり)

上記質問を年層別で見ると、「天皇や皇族の公務や普段の生活」は60代で46%となっており、他の年層よりも多くなっている。「皇室予算の使いみち」は20代で40%、40代で35%を占め、他の年層よりも多くなっている。70歳以上では「特にない」が28%、「天皇や皇族の健康状態」が17%を占め、他の年層よりも多くなっている。

また、「宮内庁が管理する史跡や歴史的な記録」は、男性で26%、女性で17%となり男性の割合が多くなっている。

おわりに

今回の調査を通して、国民の多くが皇室に関心を持ち、親しみの感情を抱いていることが明

「即位 20 年 皇室に関する意識調査」単純集計表

【調査の概要】

- 1 調査時期
平成 21 年 10 月 30 日（金）～ 11 月 1 日（日）
- 2 調査相手
全国の 20 歳以上の男女 3,313 人
- 3 調査方法
電話法（RDD 追跡法）
- 4 回答数（率）
2,043 人（61.7%）

—皇室への関心—

第 1 問 あなたは、皇室について、どの程度関心がありますか。これから読み上げる 4 つの中から 1 つ選んでお答えください。

1. 大いに関心がある …… 18.6 %
2. 多少は関心がある …… 51.2
3. あまり関心がない …… 24.5
4. 全く関心がない …… 4.8
5. わからない、無回答 …… 1.0

—皇室への親しみ—

第 2 問 あなたは、皇室に対して親しみを感じていますか。それとも感じていませんか。これから読み上げる 4 つの中から 1 つ選んでお答えください。

1. とても親しみを感じている …… 15.5 %
2. ある程度親しみを感じている …… 45.6
3. あまり親しみを感じていない …… 28.6
4. 全く親しみを感じていない …… 9.2
5. わからない、無回答 …… 1.1

—天皇の役割の評価—

第 3 問 天皇は、憲法で「日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴」と定められています。あなたは、今の天皇が象徴としての役割を果たしていると思いますか。これから読み上げる 4 つの中から 1 つ選んでお答えください。

1. 十分に果たしている …… 48.1 %
2. ある程度果たしている …… 37.1
3. あまり果たしていない …… 8.4
4. 全く果たしていない …… 1.9
5. わからない、無回答 …… 4.6

—天皇の公務で、意義のあるもの—

第 4 問 あなたは、今の天皇の公務、つまり公の仕事のうち、特に意義があるものはどれだと思いますか。これから読み上げる 6 つの中から 1 つ選んでお答えください。

1. 国会の召集や国務大臣の任命などの国事行為 …… 8.7 %
2. 全国戦没者追悼式への出席など
戦争犠牲者の慰霊 …… 16.9
3. 障害者や高齢者、災害の被災者の激励 …… 20.3
4. 外国訪問や海外の要人の歓迎など国際親善 …… 31.5
5. 植樹祭や国民体育大会など、
国内各地の行事への出席 …… 6.1

6. 意義のあるものはない …… 8.9
7. その他 …… 0.5
8. わからない、無回答 …… 7.0

—皇室との距離—

第 5 問 今の天皇が即位して 20 年になりますが、この間に、皇室と国民との距離は近くなったと思いますか、それとも遠くなったと思いますか。これから読み上げる 5 つの中から 1 つ選んでお答えください。

1. かなり近くなった …… 26.0 %
2. やや近くなった …… 36.2
3. 変わらない …… 30.4
4. やや遠くなった …… 3.4
5. かなり遠くなった …… 0.7
6. わからない、無回答 …… 3.2

—距離を縮めるために必要なこと—

第 6 問 今の天皇は、国民と近い皇室でありたいという姿勢を示しています。あなたは、皇室と国民との距離はどうすれば縮まると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを、これから読み上げる 6 つの中から 1 つ選んでお答えください。

1. 日頃の公務の様子などをもっと知らせる …… 7.8 %
2. 普段の生活をもっと紹介する …… 10.7
3. 国民の前に出る機会を増やす …… 16.2
4. 天皇自身の考えや思いを
もっと積極的に伝える …… 33.5
5. 今のままでも距離は縮まる …… 13.3
6. 特に国民との距離を縮める必要はない …… 13.7
7. その他 …… 0.3
8. わからない、無回答 …… 4.6

—女性天皇賛否—

第 7 問 女性の天皇や「女系」の天皇に関することについてお伺いします。あなたは、女性が皇位を継承することに賛成ですか。それとも反対ですか。

1. 賛成 …… 76.5 %
2. 反対 …… 13.8
3. わからない、無回答 …… 9.7

—「女系」天皇知っているか—

第 8 問 あなたは、「女系」天皇の意味を知っていますか。それとも知りませんか。これから読み上げる 4 つの中から 1 つ選んでお答えください。

1. よく知っている …… 8.1 %
2. ある程度知っている …… 42.7
3. あまり知らない …… 33.3
4. 全く知らない …… 11.6
5. わからない、無回答 …… 4.2

—女系天皇賛否—

第 9 問 【第 8 問で 1～2 と答えた人に】

あなたは女性天皇の子どもが皇位を継承すること、つまり「女系」の天皇を認めることに賛成ですか。それとも反対ですか。

1. 賛成 …… 41.4 %

- 2. 反対6.9
- 3. わからない、無回答2.6
- 4. 非該当（第8問で3～5の人） 49.1

—天皇のありかた—

第10問 あなたは、天皇制についてどのようにお考えになりますか。あなたのお考えにもっとも近いものを、これから読み上げる3つの中から1つ選んでお答えください。

- 1. 天皇に政治的権限を与える5.9 %
- 2. 天皇は現在と同じく象徴でよい 81.9
- 3. 天皇制は廃止する7.5
- 4. その他0.0
- 5. わからない、無回答4.7

—これからの皇室に望むこと—

第11問 あなたが、これからの皇室に望むことは何ですか。あなたのお考えに近いものを、これから読み上げる6つの中から2つまで選んでお答えください。

- 1. 日本各地に出かけて国民と
触れあう機会を増やす 34.9 %
- 2. 外国を訪問して国際親善を進める 36.5
- 3. 日本の文化や伝統の継承に努める 30.2
- 4. 自分の考えをもっと率直に発言する 29.9
- 5. 憲法で定められた国事行為に専念する8.5
- 6. 特にない9.6
- 7. その他0.3
- 8. わからない、無回答4.6

—提供を望む情報—

第12問 あなたは、皇室に関して、どのような情報を提供してほしいと思いますか。あなたのお考えに近いものを、これから読み上げる6つの中から2つまで選んでお答えください。

- 1. 天皇や皇族が話したことや考え 20.4 %
- 2. 天皇や皇族の公務や普段の生活 36.4
- 3. 天皇や皇族の健康状態 10.3
- 4. 皇室予算の使いみち 25.3
- 5. 宮内庁が管理する史跡や歴史的な記録 20.0
- 6. 特にない 20.8
- 7. その他0.2
- 8. わからない、無回答5.7

サンプル構成

全体	性別		年 層						
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
2,043人	876	1,167	86	263	317	334	467	507	69
100.0%	42.9	57.1	4.2	12.9	15.5	16.3	22.9	24.8	3.4

全体	男の年層							女の年層						
	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
2,043人	36	107	157	140	213	195	28	50	156	160	194	254	312	41
100.0%	1.8	5.2	7.7	6.9	10.4	9.5	1.4	2.4	7.6	7.8	9.5	12.4	15.3	2.0

全体	職 業						都市規模					
	専業主婦 (パート含む)	勤め人	無 職	農林・ 漁業	自営業	学生・その他・ 無回答	人口100万 以上の市	人口30万 以上の市	人口10万 以上の市	人口5万 以上の市町村	人口5万 未満の市町村	無回答
2,043人	535	661	530	58	181	78	427	417	425	286	335	153
100.0%	26.2	32.4	25.9	2.8	8.9	3.8	20.9	20.4	20.8	14.0	16.4	7.5